

100年の時を刻んで
 巨摩高校は新たな歴史の1ページを
 紡いでいきます



BIG FAMILY 巨摩
 ~600通りの夢をかたちに~



特集...Special edition

- 「202の可能性」新入生フレッシュインタビュー
- 「部活動フォーカス」サッカー部・吹奏楽部
- 「チーム巨摩の躍動」山梨県高等学校総合体育大会より
- 「巨摩高校に赴任しました」新任職員インタビュー

令和3年度 | 進 | 路 | 実 | 績 |
国公立大学合格者 27名
私立大学合格者 172名
 山梨大学、山梨県立大学、都留文科大学、諏訪東京理科大学等に合格

令和3年度 合格者数 (単位:人)		令和3年度 主な合格大学	
国公立大学	27	国公立大学	私立大学
私立大学	172	●山梨大学	●山梨学院大学
公立・私立短大	18	●山梨県立大学	●山梨英和大学
専門学校等	63	●都留文科大学	●健康科学大学
就職	10	●諏訪東京理科大学	●帝京科学大学
		●神奈川保健福祉大学	●愛知大学
			●東海大学
			●東京農業大学
			●日本大学
			●亜細亜大学



令和3年度 進路状況を振り返って
 昨年度の入試はコロナ禍での2回目となり、前年のように国立大学の2次試験が急遽なくなるなどの大きな混乱は無かったように思います。
 トピックスとしてはやはり2回目となった大学入学共通テストの難化でしょうか。今までの大学入試センター試験でも同様の傾向がありました。名称変更や新課程になった次の年は難化しやすいようです。英語では、日本文化のイベントに参加したフロッガーの記事とチラシを読み取り、複数の情報を併せて考えさせる出題がありました。国語では、小説の内容をノートに整理し、さらに他の情報(国語辞典、歳時記)を併せて考えさせる出題もありました。社会生活や日常生活の中から課題を発見し解決方法を構想する場面、資料やデータ等を基に考察する場面などの場面設定を重視する問題がこれからは出題されると思われると思います。1頃から考えることが重要になってきています。
 昨年度も県内指向が相変わらず強い状況でした。専門学校などでは今までの違う系統にも進学した人が多かったです。自宅から通える範囲で将来の事に直結するような選択が感じられました。大学・短大・専門学校・就職などのような進路に進むにしても十分な下調べが大勢だと思えます。対面での説明会などが増加傾向にあります。また、県外であればオンラインでの参加なども良いでしょう。比較を通してそれぞれの良さを理解した上で自分の進路を決定して欲しいものです。

本校は、大正十一年、山梨県立第三高等女学校として開校し、常に発展・進化を遂げながら、今年で百年という節目を迎える伝統校であり、三万名を超える、有為な人材を、社会に輩出してまいりました。
 現在本校では、国際交流教育や地域と連携した教育の推進などのこれまでの伝統を受け継ぎながら、独自の力(キョウゴ)による先進的な理数科教育を展開できる取り組みや、山梨大学と連携した教育の推進、また、ICT教育を取り入れ、生徒が主体的に、楽しく学ぶ授業への取り組みなど、新たな伝統を築く努力を重ねています。
 また、伝統ある本校に過去から未来に向けて根付いている校訓は「進修実践」です。進修とは徳を進め学問を修めることであり、実践とはそれを踏まえ、自ら考え行動し、結果を出すということとです。この校訓が示す通り、本校では自ら進んで人間力を高め、学んだことを基に、何が正しく何が間違っているのかを自ら判断し、主体的に行動・実践ができる人間の育成を目指しています。

kouchou sensei kara
Hi-To-Ko-To
 創立100周年。
 そして次の100年へ
 校長 渡邊 圭一郎



事にも主体的に取り組む「姿勢」が必要です。本校ではこの姿勢を「巨摩スタイル」と呼び、生徒達は実践しています。この「巨摩スタイル」を実践するために生徒にお願いしていることがあります。それは「夢と目標」を持つことです。夢と目標は人生活を歩む上で、大きな原動力となります。昨年のオリンピックに出場した競泳女子の池江璃花子選手は白血病の闘病中、病室で「私は絶対にプールに戻る」と言っていたとのこと。大病から復活を成し遂げたのは夢と目標を持ち続けたからではないでしょうか。
 夢と目標を持ち、今日という日を懸命に、真実に生きることが大切です。懸命に生きた一日は、明日につながり、未来につながります。そしてその二二日(一年となり、三年となり、十年となった時、大きな花を咲かせ、実を結ぶのです)。
 巨摩高校で学び子どもたちが、持っている力を存分に発揮し、巨摩高校の百年という伝統のよき後継者となり、次の百年という新たな歴史を作り上げていくことを期待しています。

No.035
 巨摩高 | 百景
 「勲章」
 1号館から2号館へと続く渡り廊下には、これまでの100年の間に巨摩高校が獲得してきた賞状や記念の盾などがずらりと飾られています。その中で、今回はホッケー部の功績を称えたものを切り取ってみました。皆さんも渡り廊下を取った際には各部の足跡を確認してみてくださいませうか。
 写真部 岩井 春樹 (増穂中学校出身)

巨摩高だより
KOMAstyle VOL.67
 ●発行...山梨県立巨摩高等学校 〒400-0306 山梨県南アルプス市小笠原1500-2 TEL.055-282-1163 FAX.055-282-1104
 ●発行日...令和4年6月15日
 ●編集...山梨県立巨摩高等学校 総務・広報部
 ●撮影協力...山梨県立巨摩高等学校 写真部
 巨摩高校のコト、もっと知りたくなったら、ホームページにアクセス!!
 巨摩高校 検索 URL...http://www.ko.kai.ed.jp/ E-mail...info@ko.kai.ed.jp



チーム巨摩の躍動 山梨県高等学校総合体育大会より

関東大会出場 陸上競技部男子・女子/弓道部男子/ホッケー部

陸上競技部	男子総合優勝 ● 800m第1位 矢崎那央/1500m・5000m第3位 市川大世/ 110mH第2位 牛山敦貴/400mH第2位 依田來人/ 5000mW第1位 沢登一心/ 4×100mR第3位(深澤真生・中込志弥・依田來人・渡邊航太)/ 三段跳第3位 金丸樹/砲丸投・やり投第3位 渡邊航太
女子総合第4位 ●	4×100mR第3位(名執真生・奥田愛・佐久間咲来・近藤羽純)/ 4×400mR第3位(近藤羽純・佐久間咲来・奥田愛・奥野美海)/ 走高跳第1位 片山こころ/棒高跳第3位 田中黎/

砲丸投・円盤投・七種競技 第1位 名執真生/ やり投第3位 井上みらい	弓道部
男子団体 関東大会出場 男子A ● (齊藤康暉・小野塚琉之佑・澤登颯河・藤巻優芽)	男子個人 第3位 澤登颯河 ●
女子団体 ベスト8 ●	女子個人 第7位 ●
第7位 ●	男子テニス部
団体ベスト8 ●	団体ベスト8 ●
体操	個人総合第5位 竹鶴心咲 ●



県高校総体陸上競技…女子砲丸投げ・円盤投げ・七種競技 優勝(三冠達成)

▶ 名執 真生(白根巨摩中学校出身)

私たち陸上競技部は、今回の県総体に向けて、高い目標を掲げながら日々の練習を一生懸命頑張ってきました。女子の目標だった総合優勝はできませんでした。一人ひとりが少しでもチームに貢献できるように、仲間との絆を胸に3日間戦い抜くことができました。個人では自分の納得のいく結果をだすことができましたが、自分の力だけではなく、先生方や仲間の支えがあったからこそ、ここまでやり遂げることができたのだと感じています。関東大会ではさらに強い気持ちを持って仲間とともに精一杯頑張りたいと思います。



県高校総体バレーボール競技…第7位

▶ 伊藤 向日葵(若草中学校出身)

初めに、未だコロナの心配が残る中、大会を実施・運営して下さったこと、そして自分たちが大会に参加できたことを非常に嬉しく思います。新チーム始動時は、なかなか一つにまとめることができず大変でした。しかし、練習中のコミュニケーションを常に大切に、意識的に増やしたことで、チーム力を上げて大会に挑むことができました。結果は7位となりましたが、大会を通して自分たちの課題が明確に見えてきました。次のインターハイ予選では目標に届くよう、残りの短い期間、全力でチーム一丸となって頑張ります。



県高校総体弓道競技…男子団体 関東大会出場権獲得 男子個人 第3位

▶ 澤登 颯河(若草中学校出身)

昨年度は中止になった大会も多かったため、今回、県高校総体が無事実施されたことはとても嬉しかったです。私たちはこの大会での団体優勝を目指して仲間同士でアドバイスをしながら練習をしてきました。結果は目標には届きませんでしたが、男子団体での関東大会出場を決めることができ、個人でも3位という成績を残すことができました。これもひとえに支えてくれた先生や仲間のおかげだと感謝しています。関東での経験を生かし、次のインターハイ予選では優勝できるように頑張りたいと思います。



県高校総体陸上競技…男子800m第1位(大会新記録)

▶ 矢崎 那央(榊形中学校出身)

今年もコロナ禍の中で大会を開催していただいたことに感謝しています。昨年は2位で、今年こそは自分が優勝したいという気持ちで1年間チームの仲間と努力してきました。決勝は今までにないハイレベルなレースとなり、大接戦の末、大会新記録で優勝することができ、チームの男子総合優勝にも貢献することができました。この結果が残せたのも、一緒に走ってくれる仲間がいてくれたからです。関東大会はさらにレベルの高いレースになりますが、積極的な走りをして、絶対にインターハイに出場します。



笑顔の数だけ KOMA style

今までもこれからもずっと

巨摩高校は生徒の輝く瞳を応援します！

「202の可能性」新入生フレッシュインタビュー
今年も新入生202人を迎えて令和4年度がスタートしました。
文武両道に励む2人の新入生の声をお届けします。

1年生 フレッシュインタビュー



白根御勅使中学校出身 小林 実鈴さん 女子バスケットボール部
南アルプス子どもの村中学校出身 中川 蓮登くん サッカー部

進学先を巨摩高校に決めた理由は何ですか？

中川くん 大学進学を目指すとともに、勉強面以外でも充実した高校生活を送りたいと考えて志願しました。部活動に力を入れている巨摩高校なら、昔から続けているサッカーを高いレベルで続けられます。さらに理数創造コースの手厚い授業を受けることで、勉強でも部活動でも質の高い高校生活を送ることができると考えたからです。

小林さん 私は文武両道に励みたいという思いから、巨摩高校を志願しました。巨摩高校には3校時授業や少人数制の授業があり、勉強に専念できる環境が整っています。さらに部活動も活発に行われているため、そうした活動を通して仲間とともに協働し自分自身も成長できると考えたからです。

授業や部活動の様子はどうですか？

中川くん 中学校ではあまり学ばなかった教科の授業に付いていくのに苦戦している部分もありますが、週末課題等にしっかり取り組むことで少しずつ成長を感じています。サッカー部では厳しい練習や試合を通して、自己の課題を見つけながら、チームに徐々に馴染むことができてきています。

小林さん 高校の授業はレベルも高く、進度も速くなるため、大変な部分も勿論あります。したがって計画的に予習・復習をして自分の学習スタイルを確立させることが必要です。女子バスケットボール部では、楽しく全力で練習に励んでいます。初心を忘れず精一杯努力していきたいと思っています。

担任の先生はどんな感じですか？

中川くん 担任の平井先生はとても明るく気さくな先生です。HRでは先生のジョークがクラスの雰囲気をもたせてくれています。誰も知らないクラスに入って不安もありましたが、平井先生のおかげで楽しい学校生活を過ごすことができています。

小林さん 担任の田中先生は、穏やかで優しくとても話しやすい先生です。生徒一人ひとりに寄り添い親切に対応してくれます。私たちの話に耳を傾けてくれる生徒思いの先生で、HRでの話も数学の授業も、細かく丁寧に説明してくれるので、高校生活をスムーズに送ることができています。

高校生活の目標を教えてください。

中川くん 学業面では、日々の授業に打ち込むのはもちろんのこと、英語検定、数学検定でそれぞれ準1級を取得することを目指しています。部活動では、チームの目標である県ベスト8に入れるように頑張ります。多くの人たちとの出会いの中で絆を深め、一度きりの青春を楽しみたいと思います。

小林さん やはり勉強と部活動を両立させることです。勉強面では、土曜学習会等を利用して、自分の納得できる成績を出し、部活動では満足のいくプレーができるよう、普段の練習から一生懸命取り組みたいです。この2つの柱を両立させることで、充実した高校生活を送りたいと考えています。

部活動フォーカス ▶ 今回はサッカー部と吹奏楽部にスポットをあてました

『感謝・誠実・思いやり』

サッカー部 主将 河西 健一郎(若草中学校出身)

私達サッカー部のコンセプトは『感謝・誠実・思いやり』です。部活や勉強に専念することができる、当たり前の日常に感謝すること。主体的に行動し、自立した人間に成長すること。互いを尊重し、共感力を高めること。これらの事を心掛け、学校生活に取り組んでいます。先日行われた県総体においては、2回戦で北杜高校に負けてしまいましたが、守備の粘り強さやチームワークが増してきたことを実感しました。しかし、私たちの目標は『各種大会でベスト8以上に入る』ことです。オンザピッチ・オフザピッチ双方において妥協せず、全力で取り組み、チーム一丸となって今後の大会に臨んでいきたいです。



『第58回定期演奏会』

～ご来場ありがとうございました～

吹奏楽部 部長 手塚 詠(榊形中学校出身)

私たち吹奏楽部は、5月7日(土)に桃源文化会館で第58回定期演奏会を開催しました。昨年度末には1か月の練習自粛要請が出たことにより、演奏会が開催できるか不安な時期もありました。しかし、先生方や保護者の皆様、OB・OGの先輩方など、多くの方々の支えがあり、演奏会を何とか無事に開催することができました。多くの皆様に支えていただいたことを部員一同心より感謝申し上げます。今回の定期演奏会を通して私たちは沢山のことを学びました。この学びを活かして、これからも様々なことにチャレンジして成長していきたいと思っています。



新任職員インタビュー

巨摩高校に赴任しました

1年担任・数学科 田中 宏招 先生

巨摩高校の印象は？
人にやさしく接することができる人、挨拶がしっかりできる人がたくさんいると感じています。また、部活動や勉強に一生懸命、いわゆる文武両道を目指している生徒が多いですね。私も早く巨摩高校の教員として、生徒の力になれるよう頑張りたいと思います。

どんな授業をしていますか？
1年生の数学を担当しています。今年から1年生はパソコンを購入して入学してきます。授業の中にパソコンを取り入れて効率的でわかりやすい授業を展開していきたいと考えています。パソコンを利用する授業でどんなことができるのか探りながら教えていますが、いろいろな可能性がありそうなので私もワクワクしています。

どんな高校時代を過ごしましたか？
第2次ベビーブームの世代なので、受験競争が一番厳しい時代だったと思います。だから、勉強第一を植え付けられていたような気がします。受験勉強はゲーム感覚で楽しめながら取り組んでいました。知識を得ることが格好いい、そんな価値観を持った仲間と過ごした3年間はとても貴重な時間でした。

顧問をしている部活動は？
卓球部の顧問をしています。大学時代に初めて卓球を本格的にやってみて、一生続けられるとても魅力的なスポーツだと感じています。まずは赴任したばかりで学校の環境になれるのに精一杯ですが、少しずつ部員たちとも卓球をやっていきなりたいと思っています。

生徒たちにメッセージを！
苦しいときは誰かの力を借りてもいい、苦しいことがずっと続いていくことはありません。必ず乗り越えられます。そして乗り越えた分、きっと強くなれます。高校時代にはたくさん挑戦して、いろいろな経験をしてください。成功しても失敗しても、それは必ず将来の糧になり、幸せにつながります。応援していきます。